

杭工法 VS TNF工法



株式会社タケウチ建設

杭工法の特徴



年数が経過すると杭特有の抜け上がり段差が発生し、擦り付け工事費が掛かる。また、給排水管が断裂した場合には、さらに補修費が掛かる。



曲げ応力を処理する為、地中梁が必要となり、鉄筋・コンクリート量の増大。基礎・地中梁の型枠工事が必要な為、型枠費・土工事量が増大する。



施工時には大量の敷鉄板等が必要となり、仮設費が増大する。



通常の杭工事では、土間補強が含まれていない為、別途土間補強を必要とする。または、土間補強を検討しない場合には土間の堅牢性に疑問が残る。コスト・工期の増大と安全性への問題がある。

TNF工法の特徴



高度な掘削・整形技術

- ①プラットフォーム形式であっても改良体で構築することが可能であり、構造スラブではなく、通常の土間コンクリートとして検討することが可能である。

型枠不要

- ②複雑に整形する技術がある為、基礎型枠をほとんど必要としない。

地中梁不要

- ③基礎で応力进行处理する設計なので、地中梁がほとんど不要である。

土間補強不要

- ④土間下全体を表層改良している為、土間が堅牢で、土間補強を別途必要としない。液状化に強い。

TNF工法の特徴



抜上り段差 低減



液状化被害なし

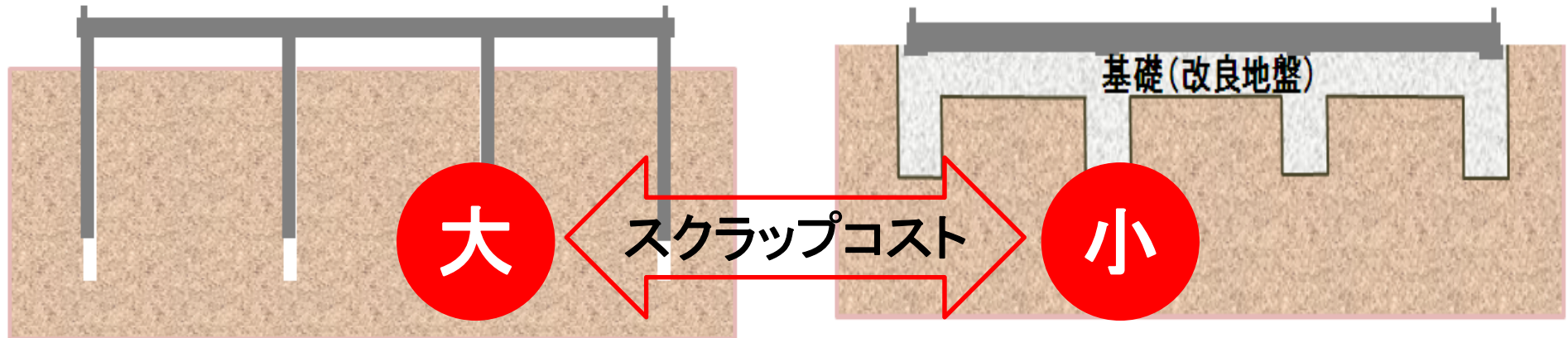


スクラップコスト比較

杭工法

VS

TNF工法



杭の抜根費は施工費の2倍

地盤改良の解体費は
施工費の1/3

解体には特別な重機が必要
解体物は産廃処理

解体は既成重機
解体物は留置可能

TNF工法

定借地の返却工事費の削減を実現

使用重機

どこでもリースできる機械のみ！
特殊な機械不要！！



バックホウ
◆地盤改良用
スケルトンバケット装着



10tタイヤローラー



ブルドーザ



バックホウ



スタビライザー



4t振動ローラー



モーターグレーダ



ダンプ